

衆議院総務委員会ニュース

【第 201 回国会】令和 2 年 2 月 13 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 行政の基本的制度及び運営並びに恩給、地方自治及び地方税財政、情報通信及び電波、郵政事業並びに消防に関する件

・高市総務大臣、河野農林水産大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人) 日本郵政株式会社代表執行役社長	増田寛也君
日本郵政株式会社常務執行役	加藤進康君
日本郵便株式会社代表取締役社長兼執行役員社長	衣川和秀君
株式会社かんぽ生命保険代表執行役社長	千田哲也君
(質疑者) 吉川元君（立国社）、奥野総一郎君（立国社）、本村伸子君（共産）	

(質疑者及び主な質疑事項)

吉川元君（立国社）

- (1) 総務省の前事務次官による日本郵政の前上級副社長への情報漏えい問題
 - ア 漏えいした情報の内容
 - イ 漏えいした大臣日程の内容
 - ウ 本件について更なる調査を行わない理由
 - エ 監査結果報告書以外の部分についても調査する必要性
 - オ 本件に係る行政文書の存否
 - カ 長門日本郵政前社長の本件について調査を行わないとした決定を撤回し、調査をするに至った理由
 - キ 日本郵政における現時点での調査の進捗状況
 - ク 調査の対象範囲
- (2) かんぽ生命保険の不適切販売に係る、日本郵便の経営陣と職員の間で開かれた対話集会
 - ア 対話集会で出された意見や要望の特徴
 - イ 意見や要望をまとめた一覧表を公表する必要性
- (3) 昨年 12 月 18 日公表の特別調査委員会の報告書
 - ア 不適正な保険募集が公然と行われていたことを示す報告書の数字についての衣川日本郵便社長の認識
 - イ 営業インストラクターや会社の研修会により不適正な保険募集が広げられていたことについての衣川日本郵便社長の見解
 - ウ 日本郵便の社員は、厳しい指導が行われている職場環境等の中で不適正募集の土壌が生まれたのではないかという考えに対する衣川日本郵便社長の見解
 - エ 上司から強要される形で社員が土日出勤していた事実が報告されていることについての衣川日本郵便社長の見解
 - オ 不適正な保険募集を誘引してきた日本郵便に今回の問題の原因があるとの考えに対する増田日本郵便社長の認識

奥野総一郎君（立国社）

- (1) かんぽ生命保険の不適切契約問題
 - ア 日本郵政グループの信頼回復及び収益源の多角化に向けた取組
 - イ 郵政民営化法見直し要求の有無
 - ウ 不適切販売・契約の全件調査の進捗状況及び終了見込み時期

- エ 新たな不適切販売・契約が明るみに出る懸念
 - オ 不適切契約 22 万件（約 6 万人）の追加調査の終了見込み時期
 - カ かんぽ生命及び日本郵便の保険販売業務再開の見通し
 - キ 郵便のユニバーサルサービスの見直しを含む郵便法改正案の提出を今国会見送った理由
- (2) 被災した農業用ハウス等の撤去・修繕に係る園芸施設共済非加入者の自己負担の在り方

本村伸子君（共産）

かんぽ生命保険の不適切契約問題

- ア 問題の発生時期についての大臣の認識
- イ 日本郵政に報告徴求命令を早期に発出すべきだったとの考えに対する大臣の見解
- ウ 乗換契約の増え方についての総務省及び日本郵政の見解
- エ 日本郵政に対する総務省の口頭指導及びヒアリングについて検証する必要性
- オ 日本郵便の募集品質支店 Web 会議における不正販売の実態の把握状況
- カ 募集品質支店 Web 会議で判明した不正販売の情報についての郵便局内及び日本郵政グループ内での共有の有無
- キ 不正販売の疑いがあるにも関わらず、かんぽの株を売却したことが市場に対する裏切り行為との考えに対する増田日本郵政社長の見解
- ク 苦情件数という指標の削減自体が目的化していたことに対する増田日本郵政社長の見解
- ケ 社員に対するパワハラの改善方法についての増田日本郵政社長の見解